

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2024年12月6日(金) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OOX24 1 (OX24 5)	アデノウイルス DNA 定量 5F150-1441-001-862 5F150-1441-022-862 5F150-1441-019-862	部分尿 0.7	ARR (r)	凍結 (28日)	2~8		PCR (リアル タイム PCR)	検出せず (コピー/mL)	重 下記 参照
		血漿 0.7	PN5 (C) ↓ ARR (r)						
		血液 (EDTA- 2Na加) 2.0	PN5 (C)	冷蔵 (28日)					

- 血液：凍結保存は避けてください。
- 他項目との重複依頼は避けてください。
- 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。



● アデノウイルスDNA 定量

高感度・特異的にアデノウイルスDNAを検出し定量値をご報告いたします。

疾患ごとにA～Gの7つの種に大きく分類され、100以上の型が存在するアデノウイルスは、出血性膀胱炎などの泌尿器疾患、咽頭結膜炎、咽頭炎、扁桃炎、気管支炎などの呼吸器疾患、流行性結膜炎などの眼疾患、腸炎、腸重積などの消化器疾患、脳炎、肝炎、急性発疹症、関節炎などにいたるまで、多彩な病状を引き起こします。

これらアデノウイルス関連疾患の診断補助として、本検査法は、リアルタイムPCR法を用いて高感度かつ特異的にアデノウイルス DNAを検出します。特に出血性膀胱炎は、比較的頻度の高い同種造血幹細胞移植後合併症の1つであり、約半数がアデノウイルスに起因するとされています。

▼関連する主な検査項目

アデノウイルスDNA 定性

▼検査要項

検査項目名	アデノウイルスDNA 定量		
項目コード (旧項目コード)	OOX24 1 (OX24 5)		
検体量	部分尿 0.7 mL	血漿 0.7 mL	血液 (EDTA-2Na加) 2.0 mL
容器	ARR (r)	PN5 (C) → ARR (r)	PN5 (C)
保存方法	凍結		冷蔵
所要日数	2～8 日		
検査方法	PCR (リアルタイムPCR)		
基準値 (単位)	検出せず (コピー/mL)		
報告範囲*1 (単位)	検出せず、判定不能 1.0×10 ³ 未満 1.0×10 ³ ～ 4.5×10 ⁶ 4.5×10 ⁶ < (コピー/mL)		
桁数	有効2桁、整数1桁、小数1桁		
検査実施料			
判断料			
備考	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">重</div> 血液：凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。		

£

*1：1.0×10³は、1.0×10³を示します。

※ 年内報告可能最終受付日は12月24日（火）、年内最終受付日12月27日（金）となります。

●参考文献

Lu X, et al : J Clin Microbiol 51 (4) : 1089～1093, 2013. (検査方法参考文献)

日本造血細胞移植学会：造血細胞移植ガイドライン ウイルス感染症の予防と治療 出血性膀胱炎：2018. (臨床的意義参考文献)